

行政相談活動を周知

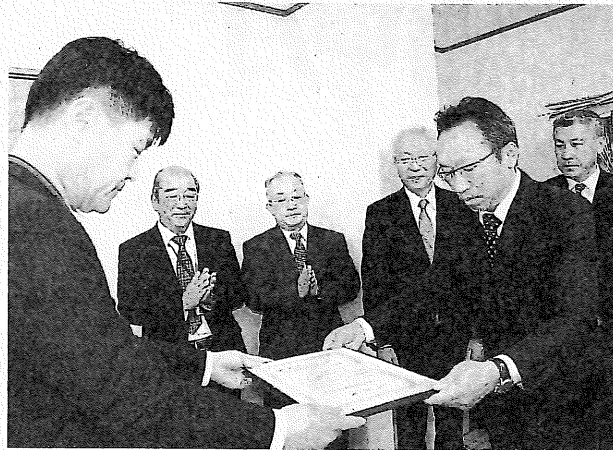
両丹日日新聞社に
全国協議会から感謝状

幅広い行政機関に国民の声を届けている行政相談委員の全国組織、全国行政相談委員連合協議会から、両丹日日新聞社(勝方努社長)へ会長感謝状が11日に贈られた。福知山市篠尾新町の社屋を京都行政監視行政相談センターの廣田博一所長ら7人が訪れ、勝方社長に感謝状を伝達した。

行政相談委員は、信号機が見えにくい、バス停のある路側帯が狭くて危ない、窓口での

説明が分かりにくいといった国、府、市を

じめさまさまな行政機関への苦情、相談を受けて助言をしたり、総務省や関係機関に伝えて問題の解決を促している。



廣田博一所長から感謝状の伝達を受けた

総務大臣から委嘱された民間有識者で、無給のボランティア。全国で約5千人が地域別に活動していて、福知山市は5人が担当している。

市役所と3支所で毎月、定例の行政相談を開いているほか、行政懇談会を開いたり、教育の場に向いて制度の授業(行政相談出前教室)もしている。両丹日日新聞は、こうした活動を折に触れて取り上げ、読者に制度を知らせてきた。

伝達には行政相談委員の中道正さん、井上正暉さん、岡垣要さん、荒木正典さんも同席し、勝方社長と懇談した。

今年度の会長感謝状は岐阜県大垣市、鳥取県大山町教育委員会など、全国で17団体・個人が選ばれた。